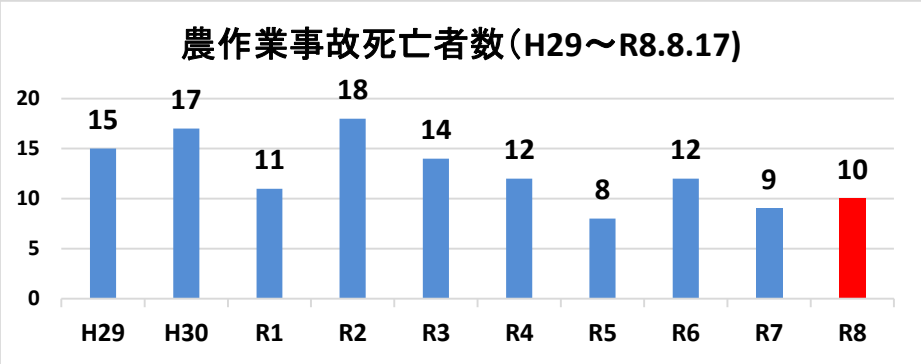
長野県における農作業事故の実態

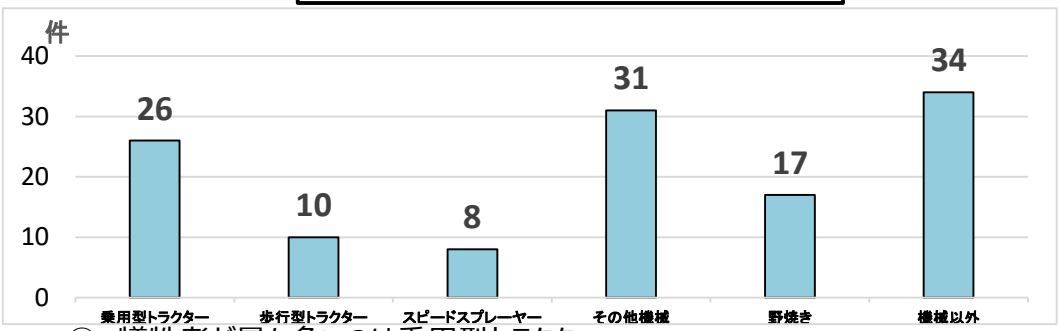
令和８年８月17日
長野県農政部農村振興課

1　農作業死亡事故の発生数の推移と機種別割合



平成29年から令和8年８月17日までの死亡者の総計は126人（上記グラフ参照）
10年間で平均すると12.6人
死亡事故は乗用型・歩行型トラクターによるものが多い
※死亡事故は、当事者が事故発生から24時間以内に亡くなった場合の件数。

機種別発生数（H29～R8.8.17）

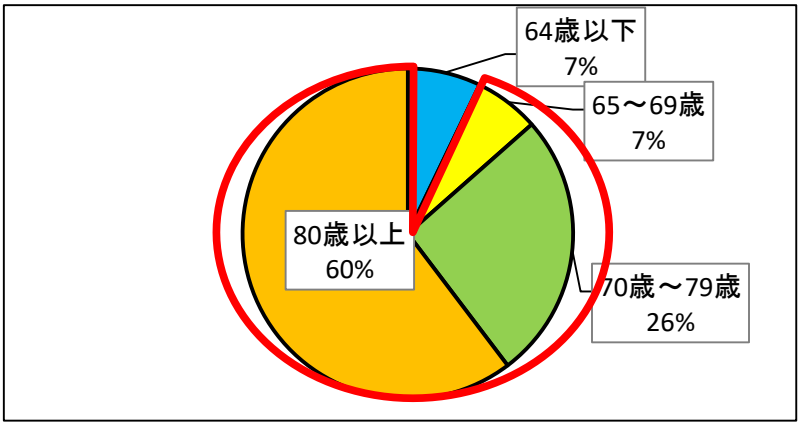


① 犠牲者が最も多いのは乗用型トラクター
② その他機械では乗用型草刈機（11件）、機械以外では熱中症（18件）が多い
③ 乗用型トラクターによる死亡事故はＲ6に３件、Ｒ7に2件発生、Ｒ８は３件発生。

2　年齢別死亡事故発生状況

農作業死亡事故の93%は65歳以上の農業者

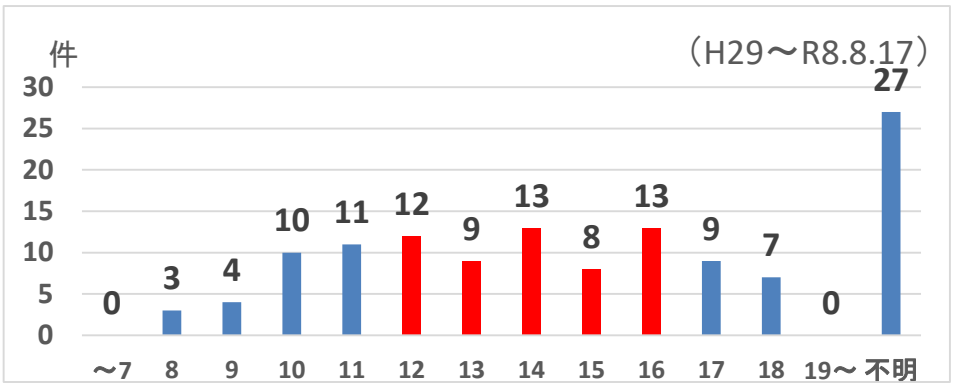
死亡事故の年齢別割合（H29～R8. 8. 17）



① 農作業事故死亡者の年齢は、年々高齢化している。
② 主な原因として、農業従事者が高齢化しているほか、
運動能力・反射神経の低下が考えられる。

3　時間別農作業死亡事故発生状況

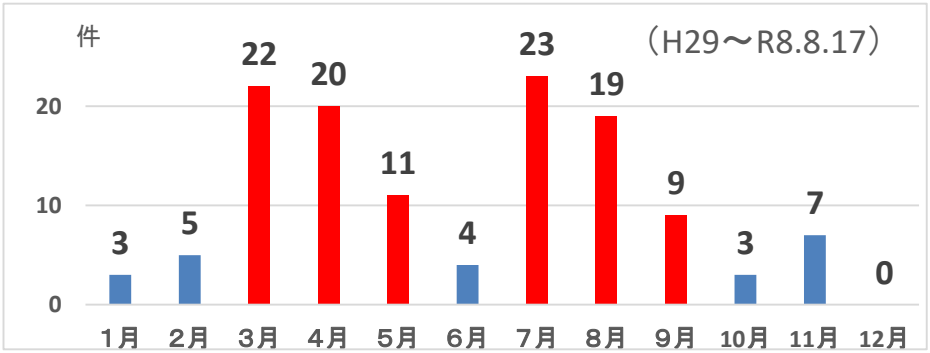
農作業事故が多い時間　12時～16時



①～12時：作業による疲れ、昼までに作業完了させようという焦り
②12時～14時：お昼に休まず無理して作業、高温による熱中症の危険
③14時～16時：体力、集中力低下

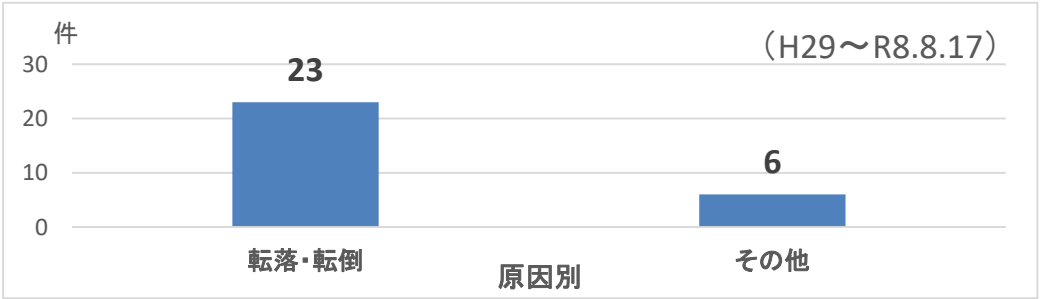
4　月別農作業死亡事故発生状況

機械を使用し始める３月～５月が多く、７月や秋の収穫期にも多い。

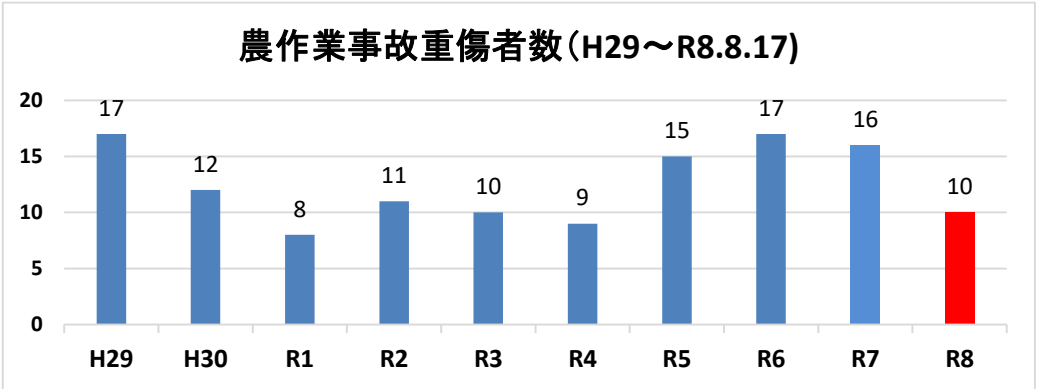


5　トラクター死亡事故の原因別発生状況

乗用型トラクターの死亡事故は、そのほとんどが転落・転倒事故
（死亡事故は安全フレーム未使用・シートベルト未装着が大部分）



6 農作業事故重症者数の推移



※重傷事故は、当事者が事故発生から24時間経過後に亡くなった事故及び１カ月以上の入院又は通院の必要のある場合の件数。